

Individual Stock Returns and Monetary Policy: Evidence from Japanese Data

神戸大学 柴本 昌彦

本稿では、個別企業株価データを用いて株式市場に対する日本の金融政策効果を分析する。特に、個別企業株価収益率に対する金融政策効果の異質性が、金融政策波及効果と関連する企業属性によって説明できるかどうかを検定する。本稿の実証結果によると、予期されないコールレートの1%の低下が、平均的な企業の株価を3%有意に上昇させることが分かった。さらに、株価収益率に対する金融政策効果には異質性があり、資本集約度の高い、開放度の低い、レバレッジの高い、金利負担の高い、運転資金の低い企業に対して有意に大きい効果をもつことが分かった。